

双ヶ丘中だより



京都市立双ヶ丘中学校 5/19 第7号 文責 林

学校教育目標 「自らの未来を切り拓く、心豊かな生徒を育成する」

第1回トークイン双ヶ丘

5月18日(木)に今年度最初の「トークイン双ヶ丘」を実施しました。「トークイン双ヶ丘」は、年間4回、全校集会などの生徒会担当の時間に、各クラスの代表がスピーチを行います。私も楽しみにしている行事の一つです。第1回目のテーマは、「中学生になって」「2年生になって」「最高学年になって」でした。この取組は、自分の意見や考えをまとめ、全校生徒の前で発表することで表現力やコミュニケーション力を高めることや自己有用感の高揚をねらいにしています。また、聴く側も他学年の生徒の意見を聴いて自分の考えを振り返る機会になります。発表する生徒も聴く生徒も真剣な表情が印象的で、好感がもてました。代表生徒の発表の一部を紹介します。

1年3組 男子。

「自分で家を出る時間を決めなくてははいけません。出る時間を間違っても、もう迎えにくる人はいません。だから、ぼくはしっかりと時間を守れる人になりたいと思います。」

※時間を大切にして、中学校生活を送ることを目標にしました。

1年3組 女子

「……二つ目は、今自分のできることを精一杯行うということ。例えば、人ができないことがあって、そのことが自分にできたら自分が手助けするということだ。」

※今まで周りの人に手助けしてもらったが、今度は自分が手助けすると決意しました。



2年1組 女子

「今年は1年生の時の何でもがんばるという気持ちも忘れず、先輩としての自覚をもって努力することを目標にしようと思います。」

※先輩としての自覚と責任感を感じたトークでした。

2年1組 男子

「僕は、その中でも特に、英語を頑張ろうと思う。1年生からの課題であった英検準2級の取得に向けて頑張る。そして、それに加えて TOEFL Primary にも挑戦してみようと思う。」

※学習に対する強い思いを語ってくれました。



3年1組 男子

「次は、勉強についてです。……机の上や中はきれいに整理して、机の上を広く使うことができるようにしたいなと思いました。」

※まず、学習ができる環境を整える。大切なことです。

3年1組 男子

「最高学年の自分たちの行動は、2年生・1年生に大きく影響してしまうと思います。だから最高学年は行動に気をつけないといけないと思います。」

※最高学年としての心構えを力強く語ってくれました。

